

事業所名

パンダキッズ神戸児童発達

支援プログラム

作成日

2025年

12月

1日

法人（事業所）理念		パンダキッズに関わる子どもたちが中心に輝かしい未来を創造します。子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、最善の利益を大切にします。福祉で「最高の笑顔」を届けます。地域、社会から必要とされる組織を目指します。							
支援方針		療育を通じて子どもたちと共に成長するいつも「最高の笑顔」で取り組みます。すべての事に「感謝の念」を持ち取り組みます。社会の役に立つことを第一に考え取り組みます。自分が源という姿勢を忘れず取り組みます。自ら学び子どもたちと成長する療育に取り組みます。子どもたちの「できた!」「楽しい!」を積み重ね、自己肯定感を育み、自立への第一歩を踏み出すための療育を提供します。							
営業時間		8時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の基本的な生活習慣を形成し、生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。 ・スモールステップで基本的動作を獲得出来るよう支援し、「できた!」という経験を重ねて自己肯定感を育みます。 ・障害の特性に配慮し、視覚的スケジュールの提示や環境調整を行い、空間を分かりやすく構造化します。							
	運動・感覚	身体活動を通して、視覚、聴覚、触覚、バランス感覚など様々な感覚情報を整理して、身体を上手く使えるようになり、やりたいことができる身体を養います。 ・うんどうあそび：サーキットで飛び石や平均台などを使って、バランス感覚を鍛えたり、飛ぶ、走る、止まるなど身体の使い方を学びます。 ・おんがくあそび：音楽に合わせて身体を動かしたり、様々な楽器に触れたりすることで、楽しみながら音楽に触れ、協調性や情緒の安定に働きかけます。 ・外遊び：公園などで粗大運動の機会を作り、近隣施設への外出を通して、日常的に経験出来ないことや自然環境の変化を体感出来る機会を提供します。							
	認知・行動	遊びを通して周りのものや人、出来事を理解し、理解に基づいて適切に行動できるよう、就学に向けた教科学習（読み・書き・数）の土台の力を養います。 ・パズル・ブロック遊びや、様々な遊びを通して、遊びの中で物の名前や形・色・数などに触れ、認知や行動の手掛かりとなる概念を学びます。 ・ビーズ通し・洗濯ばさみ・塗り絵・迷路・トンぐ・はさみ等の多様な自立課題を毎回決まった時間に取り組み、集中力と目と手の（協応）協調に繋がります。 ・公園や公共施設に出向き、場所ごとのルールを学んだり、ロールプレイ等で状況に合わせてどう行動するかを練習したりすることで、適切な行動を学びます。							
	言語 コミュニケーション	歌や絵カード・文字カード遊びなど、楽しんで言葉や発語を楽しめるよう取り組んでいます。 発語がまだ難しい時は、具体物・ジェスチャー・絵カードを使ったコミュニケーション法を取り入れることで、自分の気持ちが伝わる経験を重ねます。 わらべうたの旋律でオノマトペやうたを歌うことで発語に繋げる活動を取り入れています。							
	人間関係 社会性	困った時には職員を介して自分の気持ちに折り合いをつけて安心して遊べる経験を重ねられるように支援します。（愛着の形成と安定） 模倣あそびで対人関係の芽生えを支援し、感覚遊びから見立て・ごっこ遊びへと繋がります。1人あそびから、職員を介して友だちと一緒に遊んだり、ルールのある遊びに広げていく等、それぞれの段階の遊びを通じて、社会性を促進し、次の段階の遊びへと繋がります。							
家族支援		・連絡帳や送迎時にお子様の様子を共有したり、電話、メール等でも保護者の方からの相談を受け、ご家庭での支援についてアドバイスをいたします。				移行支援		保育園・幼稚園への通園や小学校の就学に向けての活動支援や、関係機関と連携して移行後の問題解決などに務めます。保護者の方に必要な情報を提供します。	
地域支援・地域連携		公共施設見学やハロウィンなどの行事を通して地域との交流の機会を作ります。				職員の質の向上		職員全体でのミーティングの他、連絡帳や情報機器を利用した職員間での情報共有に努めています。定期的に感染症対策・身体拘束・虐待についての研修や障害特性による支援の仕方を振り返り、共有しています。	
主な行事等		安全計画・BCPに基づき、避難訓練や安全に関する研修・実践を定期的に行っています。 誕生日会、ひな祭り、七夕まつり、ハロウィン、クリスマス、節分、お別れ会など							